



2023年9月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年5月15日

上場会社名 株式会社トスネット

上場取引所 東

コード番号 4754 URL <http://www.tosnet.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 氏家 仁

問合せ先責任者 (役職名) 管理統轄本部取締役統轄本部長 (氏名) 朽木 雄二

TEL 022-299-5761

四半期報告書提出予定日 2023年5月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年9月期第2四半期の連結業績(2022年10月1日～2023年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第2四半期	5,319	7.8	382	18.1	431	14.1	268	18.8
2022年9月期第2四半期	4,935	0.3	323	0.6	378	7.5	225	7.3

(注) 包括利益 2023年9月期第2四半期 288百万円 (31.0%) 2022年9月期第2四半期 220百万円 (7.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第2四半期	56.70	
2022年9月期第2四半期	47.73	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年9月期第2四半期	10,015	6,861	68.5
2022年9月期	9,409	6,681	71.0

(参考) 自己資本 2023年9月期第2四半期 6,861百万円 2022年9月期 6,681百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期		0.00		23.00	23.00
2023年9月期		0.00			
2023年9月期(予想)				23.00	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年9月期の連結業績予想(2022年10月1日～2023年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,150	1.2	710	2.8	810	0.6	510	2.3	107.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年9月期2Q	4,732,600 株	2022年9月期	4,732,600 株
期末自己株式数	2023年9月期2Q	2,503 株	2022年9月期	2,503 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年9月期2Q	4,730,097 株	2022年9月期2Q	4,730,097 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2022年10月1日から2023年3月31日)における世界経済は、コロナ禍前に比べて低い成長が続きました。欧米の経済の減速の背景となった、インフレ、金融の引き締めに加えて、2023年3月に発生した金融機関の破綻など金融不安などの懸念が生じております。一方、中国では2022年12月以降にゼロコロナ政策の緩和により、経済活動が持ち直してきております。わが国経済は、物価高や新型コロナウイルス感染が続く中でも経済が持ち直してきております。企業は、DXや設備投資など、コロナ禍のもとで先送りしてきた投資を積極的に進めております。

当警備業界におきましても、コロナ禍前に開催されたイベント、コンサートなどが順次再開され、警備需要等が底堅い動きとなっております。

このような状況のもと、当社グループは主力の交通誘導警備、施設警備、列車見張り警備等の警備事業及び電源供給事業の受注拡大により、当社グループの中核となる事業の展開を図り、業容の拡大と収益力の強化に取り組んでまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は5,319百万円(前年同四半期比7.7%増)、営業利益は382百万円(前年同四半期比18.1%増)、経常利益は431百万円(前年同四半期比14.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は268百万円(前年同四半期比18.7%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(警備事業)

警備事業は、交通誘導警備、施設警備、列車見張り警備等を行っております。警備事業の売上高は4,588百万円(前年同四半期比5.7%増)、セグメント利益は25百万円(前年同四半期比22.1%減)となりました。警備事業の業務別売上高の状況は以下のとおりです。

① 交通誘導警備

交通誘導警備につきましては、ゼネコン、建設工事業会社等へ積極的な営業展開を行った結果、当部門の売上高は2,988百万円(前年同四半期比2.6%増)となりました。

② 施設警備

施設警備につきましては、当社グループの重要商品と位置付け、首都圏を中心に積極的な営業展開をした結果、当部門の売上高は1,299百万円(前年同四半期比11.6%増)となりました。

③ 列車見張り警備

列車見張り警備につきましては、有資格者の増強を図ることにより、他警備事業の効率性も高めることができる当社グループの注力商品の一つと位置付けており、当部門の売上高は160百万円(前年同四半期比9.9%増)となりました。

(ビルメンテナンス事業)

ビルメンテナンス事業は、ビルメンテナンス、清掃業務及び労働者派遣業務等を行っております。ビルメンテナンス事業の売上高は118百万円(前年同四半期比18.5%増)、セグメント利益は0百万円(前年同四半期比97.7%減)となりました。

(メーリングサービス事業)

メーリングサービス事業は、メール便発送取次業務、販促品・サンプル等の封入・梱包及び発送取次業務等を行っております。売上高は205百万円(前年同四半期比13.6%増)、セグメント利益は1百万円(前年同四半期は9百万円の損失)となりました。

(電源供給事業)

電源供給事業は、各種イベント及びコンサート関連の仮設電源の提供・テレビ局関係の中継のバックアップ等各種電源需要への電源提供業務を行っております。コロナ禍前に開催されたイベント、コンサートなどが順次再開された結果、電源供給事業の売上高は407百万円(前年同四半期比28.4%増)、セグメント利益は105百万円(前年同四半期比93.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末と比べ606百万円増加し、10,015百万円となりました。この主な要因は、警備未収入金が66百万円減少したものの、現金及び預金が524百万円、のれんが70百万円増加したこと等によるものです。

負債は前連結会計年度末と比べ426百万円増加し、3,154百万円となりました。この主な要因は、流動負債その他が33百万円減少したものの、長期借入金が291百万円、未払消費税等が53百万円増加したこと等によるものです。

純資産は前連結会計年度末と比べ179百万円増加し、6,861百万円となりました。この主な要因は、株主に対して108百万円の配当金の支払いがありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益として268百万円計上したことにより利益剰余金が159百万円増加したこと等によるものです。この結果、自己資本比率は68.5%となりました。

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末と比較して524百万円増加し、5,090百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は544百万円（前年同四半期は291百万円の収入）となりました。この主な要因は、法人税等の支払額131百万円があったものの、税金等調整前四半期純利益453百万円の計上、売上債権の減少160百万円があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、支出した資金は207百万円（前年同四半期は274百万円の支出）となりました。この主な要因は、その他の収入34百万円があったものの、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出202百万円があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、得られた資金は187百万円（前年同四半期は110百万円の支出）となりました。この主な要因は、配当金の支払額108百万円があったものの、長期借入れによる収入400百万円があったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年9月期の連結業績予想につきましては、2022年11月14日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,566,842	5,090,918
受取手形及び売掛金	309,403	282,085
電子記録債権	4,595	7,352
警備未収入金	1,084,302	1,018,129
仕掛品	99	648
原材料及び貯蔵品	69,197	87,652
その他	161,395	177,168
貸倒引当金	△4,769	△5,153
流動資産合計	6,191,067	6,658,801
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	479,232	489,361
土地	1,471,250	1,471,250
その他	321,047	297,249
有形固定資産合計	2,271,530	2,257,861
無形固定資産		
のれん	146,556	216,974
その他	55,939	66,483
無形固定資産合計	202,495	283,458
投資その他の資産		
投資有価証券	226,553	228,949
投資建物(純額)	2,257	2,124
投資土地	72,085	72,085
会員権	3,603	3,703
繰延税金資産	156,675	176,235
その他	284,280	333,710
貸倒引当金	△1,761	△1,761
投資その他の資産合計	743,694	815,046
固定資産合計	3,217,721	3,356,365
繰延資産		
開業費	322	161
繰延資産合計	322	161
資産合計	9,409,110	10,015,328

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	500,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	129,222	164,406
未払法人税等	140,650	174,500
未払消費税等	142,930	196,486
未払費用	610,720	613,580
賞与引当金	83,060	110,220
その他	315,196	281,770
流動負債合計	1,921,779	2,040,963
固定負債		
長期借入金	270,914	562,373
退職給付に係る負債	354,611	379,252
その他	179,991	171,490
固定負債合計	805,516	1,113,116
負債合計	2,727,295	3,154,079
純資産の部		
株主資本		
資本金	782,930	782,930
資本剰余金	766,550	766,550
利益剰余金	5,125,823	5,285,235
自己株式	△773	△773
株主資本合計	6,674,530	6,833,942
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,504	37,999
退職給付に係る調整累計額	△14,220	△10,693
その他の包括利益累計額合計	7,283	27,306
純資産合計	6,681,814	6,861,249
負債純資産合計	9,409,110	10,015,328

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年10月1日 至2022年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年10月1日 至2023年3月31日)
売上高	4,935,440	5,319,978
売上原価	3,238,893	3,511,975
売上総利益	1,696,546	1,808,003
販売費及び一般管理費	1,373,074	1,425,946
営業利益	323,472	382,056
営業外収益		
助成金収入	24,157	19,120
受取賃貸料	15,100	16,948
投資有価証券運用益	15	—
その他	29,536	20,725
営業外収益合計	68,809	56,793
営業外費用		
支払利息	3,032	3,093
投資有価証券運用損	1,679	2,613
その他	9,397	1,497
営業外費用合計	14,109	7,204
経常利益	378,172	431,646
特別利益		
受取保険料	—	42,280
特別利益合計	—	42,280
特別損失		
固定資産除却損	0	0
投資有価証券評価損	—	20,550
特別損失合計	0	20,550
税金等調整前四半期純利益	378,172	453,377
法人税、住民税及び事業税	150,497	173,818
法人税等調整額	1,908	11,354
法人税等合計	152,405	185,172
四半期純利益	225,766	268,204
親会社株主に帰属する四半期純利益	225,766	268,204

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)
四半期純利益	225,766	268,204
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,196	16,495
退職給付に係る調整額	3,524	3,527
その他の包括利益合計	△5,671	20,022
四半期包括利益	220,094	288,226
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	220,094	288,226

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	378,172	453,377
減価償却費	59,589	62,574
繰延資産償却額	161	161
のれん償却額	13,663	15,181
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,810	△136
賞与引当金の増減額(△は減少)	24,128	22,160
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	13,534	11,766
受取利息及び受取配当金	△2,361	△2,313
支払利息	3,032	3,093
投資有価証券運用損益(△は益)	1,663	2,613
有形固定資産除却損	0	0
売上債権の増減額(△は増加)	110,862	160,341
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,436	△19,004
前払費用の増減額(△は増加)	△12,590	△8,554
未収入金の増減額(△は増加)	△79,546	879
未払金の増減額(△は減少)	10,834	△43,110
未払費用の増減額(△は減少)	△9,523	△15,699
預り金の増減額(△は減少)	△1,705	△29,851
その他	△6,246	63,055
小計	504,044	676,532
利息及び配当金の受取額	2,359	2,313
利息の支払額	△3,080	△3,220
法人税等の支払額	△212,084	△131,500
営業活動によるキャッシュ・フロー	291,239	544,125
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△1,777	△1,797
有形固定資産の取得による支出	△257,000	△36,787
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△202,844
短期貸付けによる支出	△370	△800
敷金の差入による支出	△1,750	△426
その他	△13,670	34,803
投資活動によるキャッシュ・フロー	△274,567	△207,851
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	100,000	400,000
長期借入金の返済による支出	△72,856	△73,357
配当金の支払額	△117,969	△108,555
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△19,438	△30,285
財務活動によるキャッシュ・フロー	△110,263	187,801
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△93,591	524,076
現金及び現金同等物の期首残高	4,581,266	4,566,842
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,487,674	5,090,918

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。

なお、当該会計基準の適用指針が四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合 計
	警備事業	ビルメンテナンス事業	メーリングサービス事業	電源供給事業	
売上高					
顧客との契約から生じる収益	4,337,574	99,782	181,092	316,991	4,935,440
外部顧客への売上高	4,337,574	99,782	181,092	316,991	4,935,440
セグメント間の内部売上高又は振替高	70,091	12,974	—	576	83,642
計	4,407,666	112,756	181,092	317,567	5,019,082
セグメント利益又は損失(△)	32,843	3,533	△9,906	54,762	81,233

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	81,233
セグメント間取引消去	242,239
四半期連結損益計算書の営業利益	323,472

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合 計
	警備事業	ビルメンテナンス事業	メーリングサービス事業	電源供給事業	
売上高					
顧客との契約から生じる収益	4,588,820	118,305	205,787	407,064	5,319,978
外部顧客への売上高	4,588,820	118,305	205,787	407,064	5,319,978
セグメント間の内部売上高又は振替高	74,510	6,772	—	576	81,859
計	4,663,331	125,078	205,787	407,640	5,401,837
セグメント利益又は損失(△)	25,559	78	1,425	105,872	132,935

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	132,935
セグメント間取引消去	249,121
四半期連結損益計算書の営業利益	382,056

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第2四半期連結会計期間において株式会社トップロードの全株式を取得し、新たに連結子会社としたことにより「警備事業」のセグメントにおいて、のれんが85,599千円増加しております。